

AI 活用開発で開発者が衰退しそうな件

自己紹介 (Twitter: @taroosg)

```
{
  "name": "Taro Ohsugi",
  "works": [
    {
      "work": "🎓 G's ACADEMY FUKUOKA 主任講師",
      "skills": ["JavaScript", "React", "PHP", "Laravel"]
    },
    {
      "work": "🎓 エンジニア",
      "skills": ["Laravel", "JavaScript", "画面設計", "DB設計"]
    }
  ],
  "like": ["💻", "📖", "✈️ 🚗 🏠 🚶", "🍹 🍷 🍺", "👤"]
}
```

今日の内容

AI を活用しながら開発していて最近気になっていること.

もくじ

1. 最近の開発環境
2. AI 開発以前の流れ
3. AI 活用開発の流れ
4. 気になっている点
5. 所感

最近の開発環境

言語・フレームワーク

- Laravel
- JavaScript
- React
- その他（あまりやってない）

最近の開発環境

使用 AI ツール

- ChatGPT（課金）
- GitHub Copilot

所感

- 開発スピードアップ！

AI 開発以前の流れ

1. 要件を整理して設計
2. コード書く
3. ドキュメントを調べる
4. めんどくさそうなら設計を考え直す
5. コード書く

AI 活用開発の流れ

1. 要件を整理して設計
2. コメント書いて Enter して Tab
3. 詰まったら ChatGPT に訊く
4. コメント書いて Enter して Tab

懸念点 1 ドキュメントを読む機会が減る.

- 何事も仕様を把握することは非常に重要.
- 追加されたメソッドなど知識がアップデートされない.

【例】新しめのバージョンで一発で解決するメソッドが追加されたが、パワープレーなコードが生成され何やってるかわからなくなる.

懸念点 2 設計を考え直す機会が減る．

- めんどくさそうな実装に遭遇することは設計を見直す機会になる．
- AI があると適当に投げれば動くコードを作成してくれるため，多少めんどくさい実装でもそのまま終わらせてしまうことが多い．

【例】 データの形がイマイチだったため黒魔術みたいなクエリが生成され，そのまま使った結果無事死亡．

所感

- AI を活用して開発を進めることは筆者も賛成.
- 使用するに当たっては開発者が無力とならないよう留意する必要があると考えている.
- **立ち止まって考え直すのも大事な時間である.**

おわり 🍹